

2026年 1月 25日(日)

「鑑賞」はコミュニティに効く？

事前申込制

みんなで作品をみる場づくり

東京都美術館のアート・コミュニケーション事業は、多様な来館者にとっての「アートへの入口」として広がりを見せています。その中心にはいつも、「美術館」という公の場で「みんなで作品をみる」活動があります。

とびらプロジェクトは、2012年のスタート以来14年間にわたり、美術館で複数の人がともに作品を鑑賞する場づくりに取り組んできました。その中で、人々が新しい自分や他者と出会い、気づきや創造性、ひらめきが生まれる瞬間を重ねてきました。作品を鑑賞する人々のコミュニティは、美術館の外へと広がり、新たな文化的つながりを生み出しています。

「作品を鑑賞する」という活動を通して、なぜそのような場や人とのつながりが生まれるのでしょうか。今回のとびらプロジェクトフォーラムでは、アート・コミュニケータ「とびラー」をかたちづくる講座や、鑑賞の場をひらくための準備、実践のふりかえりなど、これまで積み重ねてきた取り組みをもとに、その理由を探ります。

このフォーラムが、「鑑賞」から生まれる創造的な瞬間や、そこから広がるコミュニティの形を、参加者のみなさんとともに考え、見いだしていく一歩となれば幸いです。

※プログラムの様子は、広報・記録用に撮影させていただきます。ウェブサイト等の広報媒体に使用することがありますので、ご了承ください。

参加申込方法

参加費無料・事前申込制（先着順）

「とびらプロジェクト」ウェブサイト内の
申込フォームからお申し込みください。



<https://tobira-project.info/> とびらプロジェクト

第1部

※手話通訳、日本語字幕あり

時間：13:00～15:30 開場：12:30

会場：東京都美術館 講堂

定員：220名

※定員になり次第締め切ります。※後日、記録映像の公開あり

●とびらプロジェクトとは？

●アート・コミュニケータトーク

みんなで作品を見る場づくり

アート・コミュニケータ / 熊谷香寿美 / 小牟田悠介

●ディスカッション

「鑑賞」はコミュニティに効く？



日比野 克彦
アーティスト、
東京藝術大学学長



小牟田 悠介
東京藝術大学
芸術未来研究場 ケア &
コミュニケーション領域
特任准教授、
とびらプロジェクト
マネジャー



熊谷 香寿美
東京都美術館 学芸員
アート・コミュニケー
ション係長、
とびらプロジェクト
マネジャー

第2部

時間：15:45～17:00

会場：東京都美術館 講堂、
アートスタディールーム、スタジオ

とびラーオープンセッション

とびらプロジェクトの活動拠点を公開し、とびラーが普段の活動についてご紹介します。時間内はご自由に入退室できます。

とびラー 募集！

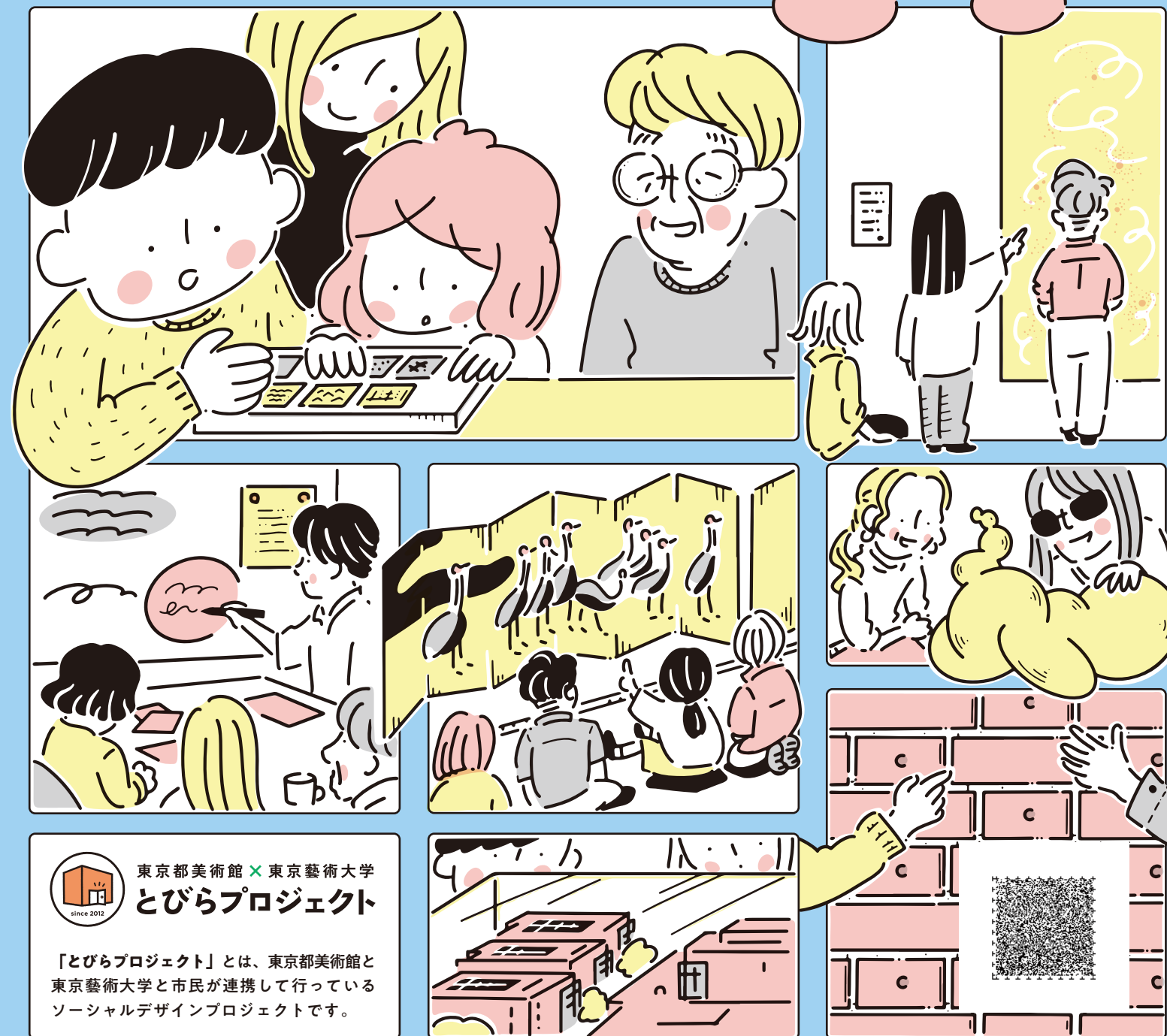
東京都美術館
×
東京藝術大学

締切 2026年

1/31 消印有効
(土)

定員 40名

「とびらプロジェクト」で活動する
アート・コミュニケータを「とびラー」と呼びます。



東京都美術館 × 東京藝術大学
とびらプロジェクト

「とびらプロジェクト」とは、東京都美術館と
東京藝術大学と市民が連携して行っている
ソーシャルデザインプロジェクトです。

お問い合わせ

東京都美術館 アート・コミュニケーション係 〒110-0007 東京都台東区上野公園 8-36

メール：q-tobira@tobira-project.info / Tel：03-3823-6921（東京都美術館代表）

主催：東京都美術館（公益財団法人東京都歴史文化財団）、東京藝術大学 企画・運営：東京都美術館 × 東京藝術大学「とびらプロジェクト」

©2025 Tokyo Metropolitan Art Museum



東京都美術館
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM

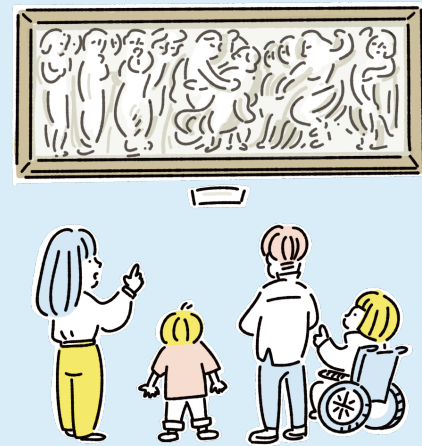


東京藝術大学

とびらプロジェクトとは？

とびらプロジェクトは、東京都美術館と東京藝術大学と市民が連携し、アートを紹介してコミュニティを育むソーシャルデザインプロジェクトです。美術館を拠点に、そこにある文化資源を活かしながら、人と作品、人と人、人と場所をつなぎ、そこから生まれる新しい価値を、実践を通して社会に届けています。

今年も活動の主体となるアート・コミュニケータ（とびラー）を40名募集します。東京都美術館と東京藝術大学と共に、あなたもアート・コミュニケータ（とびラー）として活動に参加してみませんか。「とびラー」の活動は、学芸員や大学の教員、そして第一線で活躍中の専門家を中心としたプロジェクトチームがしっかりとサポートしていきます。



例えばこんな活動

アート・コミュニケータ（とびラー）は、アートを紹介して社会の中に新しい価値をはぐくむ活動を行っています。



人々のつながりを大切にしたい新しい対話の場づくり



新しいコミュニティづくりの考え方を学ぶ基礎講座（2026年4月～6月全6回）



とびラーが活動を生み出していくための実践講座（2026年7月よりアクセス・鑑賞・建築から選択して参加）



障害のある方や高齢者など美術館に来館しづらい方々を対象とした鑑賞プログラム(Creative Ageingずっとびとの運動など)



建築家・前川國男が設計した東京都美術館の建築を味わう取り組み



子どもたちが自ら学び考える力を育む鑑賞プログラム (Museum Start あいうえのとの運動など)

東京都美術館の使命（ミッション）

東京都美術館は、展覧会を鑑賞する、子供たちが訪れる、芸術家の卵が初めて出品する、障害のある方が何のためらいもなく来館できる、すべての人に開かれた「アートへの入口」となることを目指します。

新しい価値観に触れ、自己を見つめ、世界との絆が深まる「創造と共生の場＝アート・コミュニティ」を築き、「生きる糧としてのアート」と出会う場とします。そして、人びとの「心のゆたかさの拠り所」となることを目指して活動していきます。

東京藝術大学からのメッセージ

アートはあらゆる境界を越えて、人にとって根源的な力を湧き立たせ、世界との繋がりを生み出します。

東京藝術大学は、人の中にある創造性の探求を研究活動の根底に置き、多様性を魅力とするアートの役割を創造します。人と作品、人と人、人と場所をつなぐアート・コミュニケータと共にコミュニティを築き、様々な分野、状況にある人との共創に取り組むことで、「アートは生きる力」であることをすべての人に届けます。

募集要項

日程

応募受付期間



2026年
1月4日(日)～1月31日(土)
消印有効

1次選考書類審査



選考結果は
2月24日(火)発送で
応募者全員にお知らせします。

2次選考面接審査



選考結果は
3月23日(月)発送で2次選考対象者全員にお知らせします。

2026年
3月6日(金)～8日(日)
※面接は、東京都美術館にて対面を実施します。
※2次選考の面接はアート・コミュニケータの活動をウェブサイトや参考図書等でご覧いただいていることを前提に行います。

応募条件

- 2026年4月1日時点で18歳以上の方で、日常会話レベルの日本語ができる方
- 美術または美術館に関心があり、積極的に学び、活動意欲のある方
- 東京都美術館の使命(ミッション)と東京藝術大学からのメッセージを理解し、共感して活動できる方
- 2026年4月～6月の基礎講座全6回に全て参加可能な方
基礎講座日程：2026年4月11日・25日、5月9日・23日、6月6日・20日(すべて土曜日、午前10時～午後3時予定)
- 2026年7月以降、月2日以上の活動に参加可能な方
- パソコンなどでのEメール送受信が可能な方

活動条件

- 活動場所は東京都美術館、東京藝術大学などです。
- アート・コミュニケータの活動は無償です。交通費、謝礼等の支給はありません。ただし、ワークショップや講座等学びのコミュニティに無料で参加できます。
- アート・コミュニケータの登録期間は1年間とします。次年度以降は本人ととびらプロジェクト双方の合意のうえ、登録更新し、最長3年間とします。

活動に際して

- Eメールでの連絡のほか、とびらプロジェクト専用SNSやオンライン情報共有ツール(Googleカレンダーや、Googleドライブ等)を使用します。
- 講座や活動には、必要に応じて、手話通訳などの情報保障対応を行います。

応募方法

以下の書類を郵送してください。

- ✓ 応募用紙：＜アート・コミュニケータ応募用紙＞に必要事項を記入してください。
※「とびラー募集！」ページよりダウンロードしてください。<https://tobira-project.info/b2026/>
※面接時に手話通訳等の情報保障が必要な方は、応募用紙の該当欄にご記入ください。
- ✓ 課題：A4用紙1枚（記載様式自由、裏面への記入不可、必ず氏名を記載してください）
- ✓ 返信用封筒1通：定形封筒（長形3号）に **110円切手を貼付** の上、宛先欄に応募者の郵便番号、住所、氏名を明記してください。
- ✓ 郵送の際には、封筒の表面に「**アート・コミュニケータ応募書類在中**」と朱記してください。

1次選考課題

アート・コミュニケータに応募する動機と、その背景になっているあなたにとって重要な体験について述べてください。美術館の体験でも、美術館の体験でなくてもかまいません。

(A4用紙1枚にまとめ、必ず氏名を記入してください。記載様式は自由ですがA4規格外の用紙使用や裏面への記載は選考対象となりませんのでご注意ください。)

応募受付期間 2026年1月4日(日)～1月31日(土) 消印有効

「とびラー募集！」
ページはこちら



※詳細は必ず「とびラー募集！」
ページにてご確認ください。

書類郵送先

〒110-0007 東京都台東区上野公園 8-36 東京都美術館 アート・コミュニケータ募集担当宛

※一度提出していただいた応募用紙等の書類は返却いたしません。※応募者の個人情報は、アート・コミュニケータの選考に関すること以外には一切使用しません。